

平成 30 年度 鹿児島国際大学福祉社会学研究科 大学院シンポジウム

「経営やコミュニティワーク等メソ、マクロ領域における社会福祉実践と大学院教育 - 福祉実践者に役立つ大学院教育とは」

シンポジウムのねらい

これまでの福祉教育は、個別援助技術を軸にしながら進められてきたが、ワーカーが起業して事業をおこしたりすることが珍しくなくなった。ソーシャルワークのこうした側面は、メソ・マクロ領域として福祉教育の一部をなしているが、十分展開されているとはいえず、本学の大学院プログラムの中にも必ずしも明確に具体化されていない。

しかし、これから大学院に来る人たちのニーズを考えると、これらの領域をプログラムに加えながら進めることが、これからの大学院教育に必須のものと考えられる

また修士レベルにおいては、論文作成能力というより、福祉専門職としてのスキルアップのプログラムとしてカリキュラムが用意されている場合も諸外国では多い。例えば論文作成のためのスキルとして研究法や調査法を学ぶだけではなく、それらの技術を使って、自分自身がワーカーとしてのスキルアップにつなげていくことが求められている。

ここでは、福祉現場のメソ・マクロ領域で活躍されている現場の方に、こうした点について議論をしていただくことを通して、これからの大学院教育を考える。

日時：2019年1月26日 13時～15時30分

場所：鹿児島国際大学7号館713教室（予定）

シンポジスト

石踊紳一郎氏（社会福祉法人 幸伸会理事長）

松久保和俊氏（社会福祉法人 敬和会理事長）

新田博之氏（医療法人 参天会副理事長）

吉留康洋氏（社会福祉法人 南恵会理事長）

コーディネーター

高橋信行（鹿児島国際大学福祉社会学研究科教授）

コメンテーター

千々岩弘一（鹿児島国際大学福祉社会学部研究科長）

主催 鹿児島国際大学大学院福祉社会学研究科

鹿児島市坂之上8-34-1 電話099-261-3211

担当 高橋信行